

ペレニアルライグラス新品種「道東1号」



特徴

- ◎雪腐大粒菌核病に抵抗性がある
- ◎極晩生・茎数密度が高く、放牧に向く
- ◎夏・秋の収量は、メドウフェスクより多収

名前の由来

道東地域で生存していた生命力の強い個体を素材にして育成しました！

雪腐大粒菌核病(冬枯れの主要因)に抵抗性のある「道東1号」を栽培してみませんか！

◎雪腐大粒菌核病(冬枯れの主要因)に強い！



ペレ品種A

道東1号

2017年5月10日 道東地域(根室)にて撮影

道東1号(写真の赤枠内)は雪腐大粒菌核病に抵抗性があるため、他品種より冬枯れが少ない。

雪腐大粒菌核(米粒サイズ)

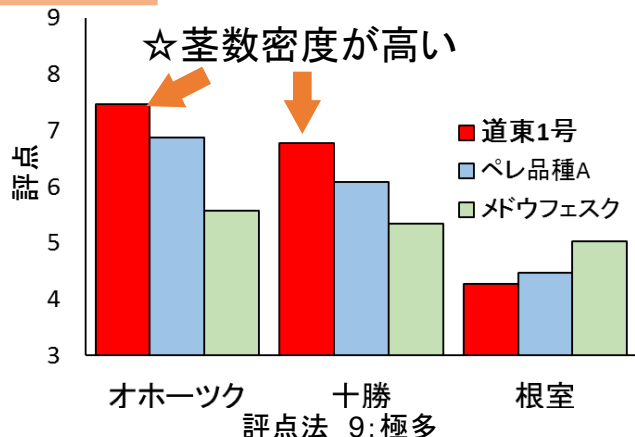


◎放牧向きの品種！

☆極晩生(他品種より出穂が遅い)

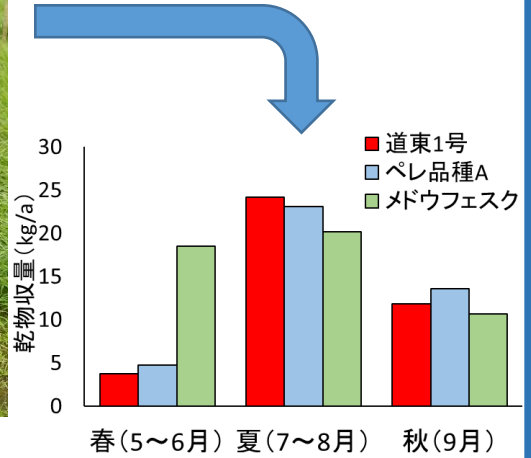
品種・年次別の出穂期(道央の江別での試験結果)

| 品種 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 道東1号 | 6月14日 | 6月10日 | 6月7日 | 6月10日 |
| ペレ品種A | 6月6日 | 6月3日 | 5月28日 | 6月4日 |
| ペレ品種B | 6月11日 | 6月5日 | 6月2日 | 6月8日 |
| ペレ品種C | 6月2日 | - | - | - |



ペレニアルライグラスは再生力、追播適性、秋の生育、嗜好性が優れるため、草地からの飼料増収が望めます。

◎厳しい寒さの冬でも、優れる再生・回復力！



道東地域(根室)における2016年春(左)と同年夏(右)の道東1号の様子

雪解け直後は枯葉が目立ったが、夏になれば元気に回復！

夏・秋の収量は、メドウフェスクよりも多収！

◎初期生育が良好で追播に向く！



播種後約1か月のペレニアルライグラス(左)とチモシー(右)

◎秋の生育が良好！



ペレニアルライグラス追播跡(矢印) 10月の道東地域(足寄)。

【育成機関】 詳しい内容のお問い合わせ先

一般社団法人 日本草地畜産種子協会

東京本所 TEL 03-3251-6501

北海道支所 TEL 011-382-8989